

2019 年度 事業計画書

自 2019 年 4 月 1 日

至 2020 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号

(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクルスポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

II. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を13大会開催する。

2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。(約500大会予定)

3) 主要競技会日程

※以下の主要競技会指導の為に必要に応じて審査委員長、セーフティオフィサー、レースアドバイザー、テクニカルアドバイザー、事務局員等を派遣する。

(1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MFJ共催／スポーツ庁後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
6月28日～30日	国際選手権	F I Mアジア選手権ロードレース日本大会	鈴鹿サーキット
7月25日～28日	世界耐久選手権	3カコ-ラ鈴鹿8時間耐久レース 42回大会	鈴鹿サーキット
10月18日～20日	世界選手権	M o t o G P日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権（全8戦）全大会MFJと共催/スポーツ庁後援/観光庁後援 全戦国際格式

日程		会場	開催クラス（◎は2レース制）				併催 MFJ カップ
			JSB	GP2	ST600	GP3	JP250
4月 6- 7日	第1戦	もてぎ	◎	○	○	○	○
4月 20-21日	第2戦	鈴鹿 2&4	◎				
5月 25-26日	第3戦	SUGO	◎	○	○	○	○
6月 22-23日	第4戦	筑波		◎	◎	◎	◎
8月 17-18日	第5戦	もてぎ 2 & 4	○				
8月 31-9月 1日	第6戦	岡山国際	○	○	○	○	○
10月 5-6日	第7戦	オートポリス	◎	○	○	○	○
11月 2-3日	第8戦	鈴鹿 MFJ - GP	◎	○	○	○	○

- JSB クラス年間チャンピオンには『文部科学大臣杯』を授与。
- 若手育成の為 GP-3 クラスに地方選手権の若手優秀者が挑戦できる特別枠を継続。
- GP 2 は今期を以て終了。2020 年より ST1000 クラス新設

(2) モトクロス

① 全日本選手権（全8戦）

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月 13-14日	HSR 九州	第5戦 東北	7月 20-21日	藤沢スポーツランド
第2戦 関東	5月 11-12日	オートポリス	第6戦 近畿	9月 14-15日	名阪スポーツランド
第3戦 中国	6月 1-2日	グリーンパーク弘楽園	第7戦 九州	10月 12-13日	HSR 九州
第4戦 SUGO	7月 6-7日	スポーツランド SUGO	第8戦 MFJGP	10月 26-27日	スポーツランド SUGO

※ 最終戦MFJ - GPはMFJ 共催/スポーツ庁後援/観光庁後援 国際格式

② モトクロス全国大会（MFJ 共催。スポーツ庁後援・観光庁後援）

ジュニア・国内 A/B 級の全国選抜大会を東北地区（SUGO）にて 8 月 4 日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル MFJ 共催・スポーツ庁後援・観光庁後援

6 月 8 日/9 日 世界選手権日本グランプリ 会場：ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権（全7戦）

	日程	会場		日程	会場
第1戦 近畿	4月 14日	湯浅トライアルパーク	第5戦 中国	9月 1日	灰塚ダムトライアルパーク
第2戦 九州	5月 12日	えびの市矢岳高原 TR コース	第6戦 中部	10月 13日	オートポリス
第3戦 関東	6月 23日	ツインリンクもてぎ	第7戦 東北	11月 3日	スポーツランド SUGO
第4戦 北海道	7月 14日	わっさむサーキット			

③ トライアルグランドチャンピオン大会

地方選手権国内日本一決定戦の全国大会を 11 月 10 日 九州・玖珠トライアルヒルズにて初開催

(4) その他の競技

①全日本スノーモビル選手権 (全5戦)

※開催は2019年2月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	2月10日	北海道(真狩)	第4戦	3月9日(土)	青森(いわき青少年スポーツセンター)
第2戦	2月17日	北海道(土別)	第5戦	3月10日(日)	
第3戦	2月24日	北海道(美瑛)			

②全日本スーパーモト選手権 (全8戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月7日	美浜(愛知)	第5戦	8月25日	SUGO(宮城)
第2戦	5月12日	HSR九州(熊本)	第6戦	9月22日	名阪(奈良)
第3戦	6月16日	It`s(福島)	第7戦	10月20日	美浜(愛知)
第4戦	7月14日	弘楽園(広島)	第8戦	11月17日	茂原(千葉)

③全日本エンデューロ選手権 (全4戦)

	日程	会場
第1戦 中国	3月24日	テージャスランチ(広島)
第2戦 中日本	5月18～19日	アルコピアオフロードランド(岐阜)
第3戦 北海道	9月14～15日	日高(北海道)
第4戦 九州	11月30～12月1日	恋の浦シーサイドエンデューロコース(福岡)

2. 全日本選手権ランキング表彰式 (MFJ MOTO AWARDS 2019)

全日本選手権各種目のランキング上位3名の表彰ならびにMFJモーターサイクルスポーツ殿堂顕彰の式典を下記にて開催する。

開催日：2019年12月14日(土) 場所：東京・日経ホール ※予定

3. 普及活動

1) MFJロードレースアカデミー in MOTEGI 2019

ロードレースにおける年少者育成を目的とし以下のように開催する。

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2019年4月～9月 年間10日間

校長：坂田和人 講師：小林龍太 他トップライダー起用

年間参加(18歳以下) 使用車両：CBR250R/CBR150R 参加:17名

2) MFJレディ-ストライアルプログラム 2019

女性を対象に普及と育成を目的とし以下のように開催する。

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：東日本地区：オフロードパーク白井・ツインリンクもてぎ

西日本地区：亀岡トライアルランド・灰塚ダムトライアルパーク

1回の募集定員：20名 チーフインストラクター：西村 亜弥

東日本地区：①8月24日（もてぎ）②9月14日（白井）③9月15日（白井）
西日本地区：①7月27日（亀岡）②7月28日（亀岡）③8月11日（灰塚ダム）

3) 親子バイク祭り

小学生以下を対象としたバイク乗車体験のスクール、ポケバイ・ミニバイクレースとの連携を目的に以下イベントを開催する。

- ① 3月22日(金)～24日(日) 東京モーターサイクルショーにて体験試乗会
- ② 4月14日(日) モーターファンフェスタ FISCO
- ③ 6月23日(日) 全日本ロードレース筑波大会にて体験試乗会

※ポケバイ・ミニバイクレースには賞品協賛等で連携

4) 東北復興応援ツーリング2019（5年目・FIM公認）

オートバイライダーによる復興支援活動として以下イベントを開催する。

期 間：2019年8月1日～31日予定。

対象地域：津波被害のあった東北沿岸部

キックオフイベント：8月3日（土）宮城県・石巻市・サンファン館（詳細企画中）

後援：観光庁・復興庁、福島県・宮城県・岩手県・石巻市・日本自動車工業会、日本二輪車普及安全協会、全国オートバイ協同組合連合会、全国二輪車用品連合会 等予定

※本活動は今回で一区切りとし、2020年以降は別形態での社会貢献活動を検討する。

5) ジムカーナ競技会

一般ライダーが参加しやすい競技としてジムカーナを種目として確立することを目指し、今期もジムカーナ統轄団体（JAGE）と共催でジムカーナ競技を承認競技会として開催する。

- ① MFJ MOTOGYMKHANA GREAT SERIES 東日本大会
開催日：2019年4月28日（日） 場所：ツインリンクもてぎ マルチコース
- ② MFJ MOTOGYMKHANA GREAT SERIES 西日本大会
開催日：2019年11月17日（日） 場所：岡山国際サーキット ミニコース

4. 代表選手派遣・認定

- ① アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。＜日程未定＞
- ② 国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
 - ・ トライアル デ ナシオン 9月27日（金）～29日（日） スペイン イベサ島
 - ・ モトクロス オブ ネーションズ 9月28日（土）～29日（日） オランダ Assen

5. 安全・環境対策

セーフティ委員会・メディカル部会・競技用装備部会・各種目委員会にて以下課題に取り組む

- 1) ロードレースコース規定の改定並びに新規規定に基づき所定の競技施設の査察実施

- 2) 規定に基づく装備品（ヘルメット/レーシングスーツ）の公認
- 3) 装備の基準検討（プロテクションの規格を今期中に策定する）
- 4) 装備の推奨（マウスガード推奨、2020年エアバッグ式プロテクション義務化に向けた準備）
- 5) 熱中症・脳震盪などの対応と復帰プログラムの推進（全種目も取り組む）
- 6) 既往症や処方薬を記載するメディカルパスポートを競技会出場時に必携させ医療機関搬送の際に渡せるように用意することを義務付ける。
- 7) 全日本モトクロス全戦で医療用品の配備、各加盟団体へ AED 配備指示。
- 8) 事故再発防止を主眼とする事故調査・対策の検討
- 9) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 10) モトクロス・スノーモビルを中心に観客安全対策の強化。（マニュアルに基づきネット・コースタープ・立ち入り禁止表示等強化）
- 11) インストラクター養成事業を行う。
- 12) 全日本選手権の運営平準化の為、各主催者の主要競技役員を集めシーズン前にセミナーを開催する。（ロードレース・モトクロス）
- 13) ドーピングコントロールの実施
全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各 1 回検査を実施する。
- 14) 全日本選手権のシリーズを通して一貫した判定と安全指導の為セーフティオフィサー 2 名を全戦に派遣する。（ロードレース・モトクロス）※モトクロスの名称はレースアドバイザー
●全日本モトクロスはレースアドバイザーの補助機能として動画撮影
- 15) 公認・承認競技会全てを対象とする観客・関係者の賠償責任保険に加入する。

6. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下 FIM という）、FIM アジア協会への加盟、連絡、調整
- 2) F I M 総会・F I M アジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) F I M 規則の翻訳
- 4) F I M・FIM アジアライセンスの発行
- 5) FIM 世界選手権の運営に求められる主要競技役員資格認定の為、F I M 競技役員セミナーを開催、または派遣。
●テクニカルセミナー（4月13/14日）/メディカルセミナー（6月16日）の2回開催予定。
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) その他国際交流の促進

7. 補助金事業

1) (公財) JKAオートレース

- (1) 国内競技規則書(12月発行 2020年版) 交付申請額: 8,424,000円
交付内定額: 2,450,000円
- (2) 競技会運営者用ピブス 交付申請額: 1,166,000円
採択されず。

2) ドーピングコントロール助成金

従来、MFJから独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)に直接補助金を申請していたが、国内スポーツにおけるアンチドーピング活動の組織改編があり、新組織の日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)が各スポーツ団体が個々に申請していた補助金申請を一括して行うこととなり、ドーピング対象大会はJ-Fairnessから指定され、日本アンチドーピング機構(JADA)が検査に費やした費用はJ-FairnessからJADAに助成される方式に変更されたことからMFJからの補助金申請は不要となった。検査は全日本ロードレース・モトクロス・トライアル競技会において各1回実施する。

8. 情報発信活動

1) 広報活動

会員、メディア・販売店・一般への情報を内容に応じて以下の媒体を活用し発信する。

- ①ホームページを主体とし、加えて会員へメールにて情報配信
- ②全日本ロード/モトクロスは専用HPを活用、エンデューロ、スーパーモトは外部HPとリンク
- ③モーターサイクルショー等で主要競技と普及イベント告知を小冊子等の手段で行う。
- ④後半戦の主要競技会の見どころを中心にライディングリミテッド(フリーペーパー)を作成(7月発行)加盟団体・施設・用品量販店等に配布
- ⑤広報部会活動
 - ・ 専門誌/一般メディアを対象にメールマガジンを発信し露出の拡大を図る
 - ・ 記者発表会/メディア懇談会を開催し連携を図り、告知協力を依頼する。
 - ・ 女性のモーターサイクルスポーツ参画応援サイト(Moto Ladies) 継続
- ⑥国内競技規則書の発行(年間1回) ※ JKA補助金事業

2) プロモーション・マーケティング事業

以下項目の業務委託先を従来の(有)クライムから共同印刷(株)と(有)クライムが新たに設立する(株)TOMOWEL Promotionに変更し、業務委託契約を結び活動を実施する。

(1) プロモーション事業

- ① 映像製作/露出(GMP社)
 - ・ 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録しBS12にてダイジェスト放映(毎月末土曜 21:30~22:00)

- ・ Web 動画配信「Web ロックオン」と「You Tube Live」にて全日本ロード全戦のライブ動画配信（配信後アーカイブ）※収録カメラ 5 台 + 監視カメラ映像 ※全日本モトクロスは 3 大会実施
 - ・ 無料インターネット TV（Abema Fresh TV）にて放映(スマホ視聴可)
 - ・ 無料動画サイト「GYAO!」にて配信(約 1 か月後)以後アーカイブ
- ② BS11 での告知
- BS11 のオートバイ番組「モトライズ」内で 2 分間のイベント告知コーナーを設け全日本トライアルの映像とともに全日本ロードレース・モトクロスの開催告知を行う（7 回）。毎月第 1/第 3 土曜日 21:30～22:00。
- ③ オフィシャルホームページ等広報（YUP 社）
- ・ オフィシャルホームページ「Superbike.jp」にて情報発信
 - ・ メルマガ配信・写真等素材提供
 - ・ 東京モーターサイクルショーでの PR 活動
 - ・ シリーズ概要パンフ・プロモーション映像等の製作
- ④ ファンクラブの運営（ライディングハート社）
- (2) M F J 会員へのメリット供与
- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide

9. 組織

1) 地域組織

- (1) 加盟団体の業務委託形態と内容について日本二普協と協議。
- (2) 全日本選手権等主要イベントの集客向上
- (3) M F J ネットワークショップ加入促進活動。
- (4) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的開催する。

2) 中央組織

- (1) 中央スポーツ委員会の方針に基づき、各委員会・部会を進行する。

10. 会員登録・公認事業

1) 会員登録事業

- ・ 個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う（WEB 申請・郵送申請）
- ・ 特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

2) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

3) 競技施設の公認事業

競技施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認。必要に応じて査察を実施する。

11. サービス事業（競技運営用備品・用品の販売等）

- ・ 主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・ 公認用品製作／販売会社に製品に貼付する公認マークを販売する。
- ・ 規定に基づき、参加者の昇格申請、希望競技番号を管理する。

12. その他事業

（1）諸会議の開催

MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

- ・ 理事会（6月/12月/3月）・評議員会（3月/6月）加盟団体会議（12月）
- ・ 中央スポーツ委員会・専門委員会・技術委員会・各種部会

（2）スポーツ安全保険

- ・ 会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・ 受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。

（3）競技会管理システムの開発・運用

- ・ 開催報告・ポイント管理・昇格ポイント管理等のシステムを完了し運用する。

（4）公益目的支出計画の完了

計画の7年間から1年間延長し、今期で完了し、手続きを行う。

（5）MFJモーターサイクルスポーツ殿堂

- ・ 殿堂評議会にて2019年殿堂顕彰者を決定し、ランキング表彰式時に顕彰する。
- ・ 専用ホームページの内容を充実する。
- ・ 過去のリザルトのデータベース化を進める。

以上